

平成27年度

事業報告書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

公益財団法人 日本ボールルームダンス連盟

目 次

【法人の概要】 P 3～ P 6

- 1 設立年月日
- 2 定款に定める目的
- 3 定款に定める事業内容
- 4 所管官庁に関する事項
- 5 会員の状況
- 6 主たる事務所
- 7 役員に関する事項
- 8 職員に関する事項
- 9 役員会等に関する事項
- 10 法人の課題

【公益目的事業】 P 6～P 15

第1. 普及・啓発に関する活動

- 1 JBDF はじめてのボールルームダンス(社交ダンス)指導者養成講習会事業
- 2 学校学習委員会 事業
- 3 学校キャラバン隊事業
- 4 行政・学校・団体・産業界等との連携・協力事業
- 5 サマーセミナー
- 6 定期研修会
- 7 ナショナルチーム選手育成事業(ナショナルチーム強化講習会)
- 8 コングレス
- 9 ジュニアダンス開発事業
- 10 ダンスウィーク「ダンスの日」事業
- 11 地域協会支援事業
- 12 スーパージャパンカップダンス前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会

第2. 調査・資料収集に関する活動 P 15～P 16

- 1 国際渉外事業
- 2 機関誌作成事業
- 3 情報システム運営事業
- 4 資料室運営事業

第3. 資格付与に関する活動 P 16～P 17

- 1 プロダンスインストラクター事業
- 2 資格認定事業

第4. 競技会に関する活動 P17～P19

1 小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ

◎スポーツ拠点づくり推進事業（総務省・文部科学省推進）認定スポーツ大会

2 ジャパン・ジュニア・ダンス・フェスティバル

3 日本インターナショナルダンス選手権大会

4 スーパージャパンカップダンス

全日本セグエ選手権大会・全日本選抜ダンス選手権大会

5 JBDFプロフェッショナルダンス選手権大会

全日本アマチュアダンス選手権大会

6 全日本10ダンス選手権大会

7 その他競技会

【収益事業等】 P20

1 出版物の刊行・販売

【その他の事業（相互扶助等事業）】 P20～P21

1 海外で開催される競技会のチケットの販売に関する活動

2 外国人招聘手続に関する活動

3 商業スポーツ施設インストラクター認定、講師・試験委員認定、採点管理者資格認定に関する活動

【資料】

別紙①：平成27年度定期研修会

別紙②：第33回（平成27年度第1回）プロ・ダンス・インストラクター
認定講習（集合講習及び考査）会場

別紙③-1：平成27年度地域指導員認定試験及び商業インストラクター
認定試験

別紙③-2：平成27年度採点管理者認定試験及び講師・試験委員試験

【法人の概要】

1 設立年月日

平成4年3月24日 財団法人として発足
平成26年4月1日 公益財団法人へ移行

2 定款に定める目的

この法人は、わが国におけるボールルームダンス及びボールルームダンス技術の発展と普及を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。

3 定款に定める事業内容

(事業)

- (1) 普及、啓蒙及び指導
- (2) 競技会の実施、公認及び認定並びに競技規則の制定
- (3) 指導者の資格認定
- (4) 競技の審査員の資格認定
- (5) 研修会、講習会の開催
- (6) 国際組織への加盟並びに国際的競技会等への選手・役員等の派遣
- (7) 技術研究、開発及び競技選手の育成、指導
- (8) 調査、資料収集
- (9) 教室の健全な育成、指導及び助言
- (10) 競技等に関する施設の設置及び運営
- (11) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(その他の事業)

- (1) ボールルームダンス技術書、音楽著作物等の刊行
- (2) ボールルームダンス用品等の販売
- (3) その他関連事業

4 所管官庁に関する事項

内閣府大臣官房公益法人行政担当室

5 会員の状況

正会員 1, 686名

登録会員 9, 116名

認定会員 497名

合計 11, 299名

(平成28年3月22日現在)

6 主たる事務所

主たる事務所 : 東京都中央区日本橋浜町2丁目33番4号 日本ダンス会館

7 役員に関する事項

会長理事	稲川 素子	非常勤	(株) 稲川素子事務所
副会長理事	内田 芳昭	非常勤	国分寺ウチダダンススクール
専務理事	石原 久	非常勤	石原ヒサシダンススクール
常務理事	遠藤 利男	非常勤	(一社) 日本エッセイストクラブ
常務理事	笠原 一也	非常勤	(公社) 日本フォークダンス連盟
常務理事	嶋村 嘉高	非常勤	嶋村ダンススクール
常務理事	奥村 三郎	非常勤	ダンススクールオクムラ
常務理事	佐藤 伴幸	非常勤	佐藤伴幸ダンススクール
常務理事	小久保 浩	非常勤	コクボダンススクール
常務理事	青木 信之	非常勤	長崎ダンスアカデミー
常務理事	笹川 祐司	非常勤	長谷川ダンススタジオ
理事	玉利 齋	非常勤	(公財) 日本健康スポーツ連盟理事長
理事	大山 綱明	非常勤	(公財) 日本関税協会理事長
理事	佐伯 聰夫	非常勤	(学法) 日本ウエルネススポーツ大学教授
理事	中村 優子	非常勤	(公財) 吉田秀雄記念事業財団
監事	横溝 大門	非常勤	横溝大門公認会計士事務所
監事	坂本 忠	非常勤	沢田ダンススクール

(平成28年5月23日現在)

8 職員に関する事項

	職員数	男性	女性
事務局職員	12名	(6名)	(6名)

(平成28年5月23日現在)

9 役員会等に関する事項

	開催年月日	議 事 事 項
理事会	平成27年4月27日	1. 理事及び会長辞任承認の件 2. 新会長選任の件 3. 日本インターナショナルダンス選手権大会の件 4. 所有権移転登記申請承認の件
	平成27年5月15日	1. 西部日本BDF連盟の件 2. 東部日本及び東部日本選手会の件 3. 監事からの意見書の件
	平成27年6月1日	1. 平成26年度事業報告(案) 2. 平成26年度収支決算(案) 3. その他

	平成 27 年 7 月 30 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今後の事業計画及び事務局体制の件 2. 全日本 10 ダンス選手権の件 3. 東部・西部地域管轄競技会承認の件 4. その他
	平成 27 年 9 月 17 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 27 年度事業計画の変更 2. 平成 27 年度補正予算（案） 3. 積立金の取崩しの件
	平成 27 年 10 月 15 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事務局長代行選任の件 2. 東部日本の和解の件 3. 中村理事からの提案の件
	平成 27 年 12 月 14 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. J B D F の正常化について 2. 2016 スーパージャパンカップダンスについて 3. 国民体育大会に関する合意書（案）承認の件 4. その他
	平成 28 年 1 月 4 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新執行部承認の件 2. 今後の運営方針について 3. 2016 スーパージャパンカップダンスについて
	平成 28 年 2 月 8 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 28 年度予算（案） 2. 平成 28 年度事業計画（案） 3. 基本財産取崩しについて 4. 諸規程審議について
	平成 28 年 3 月 7 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本財産取崩し差戻しの件 2. 東北ブロック、関東甲信越ブロックならびに神奈川県連盟からの要望及び上申書について 3. ダンス競技の国民体育大会正式種目採択にむけた合意書について
評議員会	平成 27 年 6 月 26 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成 26 年度事業報告（案） 2. 平成 26 年度収支決算（案）の承認 3. 役員選任の件
	平成 28 年 2 月 29 日	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本財産取崩しの件 2. 役員候補者推薦委員の選出の件

10 法人の課題

本法人は平成26年4月1日より公益財団法人として新たにスタートをきり、2年が経過しました。この2年間で振り返り、本法人が定める事業を遂行し、その目的を達成するためには、以下の諸課題に真摯に取り組み解決する必要があります。

- ①コンプライアンスの遵守とガバナンスの改善を図る
- ②会費収入を図るしくみや体制を構築し、財政基盤の安定化を図る
- ③広報活動を充実し、会員・加盟団体とのコミュニケーションを円滑にする

【公益目的事業】

第1. 普及・啓発に関する活動

1 JBDF はじめてのボールルームダンス(社交ダンス)指導者養成講習会事業

- (1) 目的 学校教育、社会教育の場並びに学社連携の教育の場において、全国の多くの児童・生徒がボールルームダンス（社交ダンス）の特徴である音楽と運動の両面から「創造できる楽しさと踊りの深まり」や「人とのかかわりの調和」等の学びの体験を通じて、生涯にわたって運動に親しむとともに豊かなスポーツライフを継続する資質や能力を育て、健やかな心身を育むことを目的に、学校、地域でのボールルームダンス指導の実践に役立つ実技と指導法を講習し、全国に裾野を広げていく指導者の養成を図る。
- (2) 主催 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (3) 認定 文部科学省「教員免許状更新講習」認定
- (4) 助成 独立行政法人日本スポーツ振興センター「toto スポーツ振興くじ」助成
- (5) 後援 文部科学省、北海道、福島県教育委員会、中央区教育委員会、愛知県教育委員会、大阪府教育委員会、大分県教育委員会
- (6) 講師 学校学習委員会委員（文部科学省の承認を得た者）
- (7) 対象 全国の幼・小・中・高等学校教諭、特別支援学校教諭等ならびにボールルームダンスの指導に関心のある一般の大人。
- (8) 募集方法 文部科学省ホームページ、都道府県教育委員会、学校関係教諭、本法人ホームページ・機関誌、開催地並びに近隣の小・中・高等学校に開催要項を送付して募集した。

(9) 開催地区・開催地・講習の期間・開催会場・担当講師及び参加者数

開催地区	開催地	期	講習期間	開催会場	担当講師	参加者数			
						教員免許更新者	学校教員	一般	合計
北海道地区	北海道札幌市	第1期	2015年8月5日 (水)～8月6日 (木)	タカダンス 栗林スタジ オ	講義 佐伯年詩雄 実技 島 輝子 村田 恭子 米田 典靖	20	3	2	25

北海道地区	北海道 札幌市	第2期	2015年11月14日(土)~15日(日)	タカダンス 栗林スタジオ	講義 笠原 一也 実技 堀口 宏 大島 寿子 米田 典靖	20	1	0	21
東北地区	福島県 郡山市	第1期	2015年8月17日(月)~18日(火)	(第1期) 磐梯熱海 スポーツパ ーク	講義 石川 晋 実技 堀口 宏 島 輝子 増淵 慎吾	6	2	13	21
		第2期	2015年10月10日(土)~11日(日)	(第2期) 1日目:清 稜山倶楽 部 2日目:磐 梯熱海ス ポーツパー ク	講義 佐伯年詩雄 実技 堀口 宏 大島 寿子 増淵 慎吾	7	2	11	20
関東地区	東京都 中央区	第1期	2015年8月2日(日)~3日(月)	中央区立 総合スポ ーツセン ター	講義 石川 晋 実技 松村有希子 堀口 宏	20	4	8	32
		第2期	2015年10月31日(土)~11月1日(日)		講義 佐伯年詩雄 実技 松村有希子 堀口さと子	17	3	2	22
東海・北陸地区	愛知県 名古屋市	第1期	2015年8月10日(月)~11日(火)	(第1期) 愛知県産 業労働セン ター	講義 佐伯年詩雄 実技 堀口 宏 大島 寿子 田川 敦詞	14	4	3	21
		第2期	2015年10月17日(土)~18日(日)	(第2期) 昭和スポ ーツセン ター	講義 佐伯年詩雄 実技 堀口さと子 村田 恭子 田川 敦詞	15	2	1	18

近畿・中国・四国地区	大阪府 大阪市	第1期	2015年8月23日 (日)～24日(月)	大阪府教 育会館(た かつガーデン)	講義 笠原 一也 実技 島 輝子 桜田 まゆ 山本 陽子	31	5	5	41
		第2期	2015年10月24 日(土)～25日 (日)		講義 佐伯年詩雄 実技 堀口 宏 村田 恭子 山本 陽子	30	3	5	38
九州・沖縄地区	大分県 別府市	第1期	2015年8月20日 (木)～21日(金)	大分県立 社会教育 総合センタ ー	講義 佐伯年詩雄 実技 松村有希子 堀口 宏 甲斐 宣高	14	2	5	21
		第2期	2015年11月21 日(土)～22日 (日)		講義 笠原 一也 実技 堀口 宏 桜田 まゆ 甲斐 宣高	15	2	4	21
(定員 180 人)						209	33	59	301

(10) 内容

- ア 講義主題 「生涯スポーツと学校体育そしてダンス」、「これからの学校学習とボールルームダンス」
- イ 実技指導 「ダンス技術と指導法」、「模擬授業指導法」、「学習のまとめとしての発表会(ダンスパーティー)指導法」、「実技試験」、「学校での授業の評価方法」

(11) 特記事項

- ア 文部科学省の教員免許法に基づいて実施される「教員免許状更新講習」に認定されて開催する講習会で、今年で7年目となる。
- イ 本講習会は教員免許状更新講習として受講できる教諭は、平成28年3月31日及び平成29年3月31日を最初の修了確認期限とする小学校教諭、中学校・高等学校の保健体育教諭で講習受講により履修認定を受けた場合に免許状更新講習(選択領域18時間以上)の本法人の会長名で履修証明書を交付する。
- ウ 「totoスポーツ振興くじ助成事業」の助成を受けて実施し、今年で5年目となる。

(12) 実施後の成果

- ア 主たる対象を学校教諭としているので、学校学習への導入の機運が拡がり普及・啓発につながった。
- イ 参加した教諭に、ボールルームダンスの楽しさ、児童・生徒の人との係わりや健やかな体と豊かな心の育むなどの教育的効果を理解させることができた。
- ウ 学校教諭が生涯スポーツとして取り組む機運につながった。

(13) 今後の課題

- ア 本講習会に参加した教諭に対し、アフターケアの方法を検討する必要がある。

(14) 平成27年度「教員免許状更新講習」の文部科学大臣の認定通知文(写)

※次頁参照



26文科初第1375号

公益財団法人日本ボールルームダンス連盟

貴法人から申請のあった免許状更新講習について、別紙のとおり認定し、通知する。

なお、当該講習の開設に当たっては、免許状更新講習規則及び平成20年文部科学省告示第50号の規定に留意の上、遺漏のないよう実施するとともに、当該講習の終了後、その運営状況、効果等について評価を行い、当該評価結果について報告すること。

平成27年3月17日

文 部 科 学 大 臣

下 村

博 文



2 学校学習委員会 事業

- (1) 目 的 文部科学省の新学習指導要領で、中学校は平成24年4月から「ダンスと武道」が男女ともに必修となり全面実施となりました。このことから、児童・生徒が生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育て健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現するため、小・中・高等学校の学習指導要領を踏まえて、ボールルームダンスの授業化に向けて研究・実践を通して指導体系を構築するとともに、学習指導教材の研究、開発を行いその積み重ねの成果を学校教諭、一般並びにボールルームダンス指導者に指導方法等を伝達し普及・啓発に努める。
- (2) 学校学習委員会委員
- 委員長 松村有希子
- 副委員長 堀口 宏
- 学識委員 笠原一也、佐伯年詩雄、石川 晋、島田左一郎
- 本部委員 堀口さと子、島 輝子、村田恭子、大島寿子、桜田まゆ
- 広域委員 上川原 豊、増田直紀、廣田眞千子、公森賢三、青山照子
- ※上記委員の外に、地域における学校への普及・啓発を促進するために、都府県加盟団体に学校学習担当委員会を置いている、
- (3) 研究対象 全国の小・中・高等学校の研究協力校の学校教諭及び児童・生徒
- (4) 研究内容 研究協力校と共同で、学校学習におけるボールルームダンスの授業化のための

ダンス技術、指導法並びに学習教材の研究・開発を行う。

(5) 研究期間 平成 27 年 4 月 1 日 (水) ~平成 28 年 3 月 31 日 (木)

(6) 研究開発 学校現場で活用できる指導教材の研究開発、作成及び積み重ねの成果を公表し、学校教諭が児童・生徒にボールルームダンスを指導する際の教諭用指導書及び児童・生徒が個人学習あるいはグループ学習の際に役立つものとするため、これまでの実践・研究の積み重ねの成果を教材として作成する。

ア「指導の手引書(総論)～学習指導の手引き～」の研究、作成

イ「実技指導解説書(8種目)」の研究、開発、作成

ウ「実技種目解説」DVDの研究、作成

エ「学校学習指導教材音楽集」CD(映像編)の研究、作成

オ 学校学習普及説明資料の作成「なぜ学校学習にボールルームダンスなのか！」

カ ボールルームダンスの学校学習プロモーション資料を広く頒布するために、平成 26 年 2 月 4 日に本法人のHPにアップし現在に至っている。

キ「ボールルームダンス授業化研究事例集」の研究、開発、作成

「ボールルームダンス授業化研究事例集」は、下記の学校を平成 14 年から研究協力校と共同研究に取り組み、その実践研究を学習指導案としてまとめた。

(ア) 平成 14 年度 京都教育大学教育学部附属京都中学校 (1 校)

(イ) 平成 15 年度 京都教育大学教育学部附属京都中学校、京都教育大学教育学部附属京都小学校、京都市立朱雀第一小学校 (3 校)

(ウ) 平成 16 年度 京都教育大学教育学部附属京都中学校、京都教育大学教育学部附属京都小学校、京都市立朱雀第一小学校 (3 校)

(エ) 平成 17 年度 京都市立朱雀第一小学校、長野市立広徳中学校、長野市立更北中学校、長野市立加茂小学校 (4 校)

(オ) 平成 18 年度 京都市立朱雀第一小学校、北海道教育大学附属函館小学校、長野市立更北中学校、長野市立櫻ヶ岡中学校、長野市立山王小学校、長野市立柳原小学校 (6 校)

(カ) 平成 19 年度 京都市立朱雀第一小学校、北海道教育大学附属函館小学校、長野市立広徳中学校、長野市立山王小学校、長野市立柳原小学校、和歌山市立中之島小学校、和歌山市立西脇小学校、和歌山市立岡崎小学校 (8 校)

(キ) 平成 20 年度 京都市立朱雀第一小学校、北海道教育大学附属函館小学校、北海道八雲町立落部中学校、北海道知内町立知内中学校、長野市立広徳中学校、長野市立山王小学校、和歌山市立中之島小学校、和歌山市立西脇小学校 (8 校)

(ク) 平成 21 年度 北海道北斗市立浜分小学校、長野市立櫻ヶ岡中学校、長野市立山王小学校、和歌山市立中之島小学校、和歌山市立西脇小学校、和歌山市立有功東小学校、大阪府立吹田高等学校 (7 校)

(ケ) 平成 22 年度 長野市立須坂小学校、長野市立豊洲小学校、大阪府立吹田高等学校、小田原市立富水小学校、京都市立藤ノ森小学校 (5 校)

(コ) 平成 23 年度 長野県飯田市立浜井場小学校、大阪府立吹田高等学校、小田原市立富水小学校、秋田市立飯島南小学校 (4 校)

(サ) 平成 24 年度 長野県飯田市立浜井場小学校、小田原市立富水小学校 (2 校)

(シ) 平成 25 年度 長野県飯田市立浜井場小学校、小田原市立富水小学校 (2 校)

(ス) 平成 26 年度 長野県長野市立浅川小学校、小田原市立富水小学校 (2 校)

※研究協力校延べ数：55 校

(7) 本年度の学校学習授業化研究協力校との共同研究は予算の関係で中止した。

(8) 研究の成果

ア 指導内容や指導方法が整理され学習指導法を体系化することができた。

イ これまでに、研究開発した成果を指導者養成講習会等で広く伝達することができた。

ウ 児童・生徒にボールルームダンスの楽しさや人との係わりを直接伝えることができた。

エ 都道府県連盟学校学習委員会の普及活動により、地域における学校学習支援の活性化につながった。

オ ボールルームダンスの学校学習プロモーション資料を広く頒布するため、本法人のHPにアップしたことにより、広く普及・啓発につながる。

3 学校キャラバン隊事業

(1) 目的 ボールルームダンスを生涯スポーツの基礎として、学校学習に普及・啓発を図るため、多くの児童・生徒が「楽しさ」、「豊かさ」、「長年培われたマナー」が総合された世界共通の文化であるボールルームダンスの実際の踊りを見学、学習し学習意欲を喚起させる機会をつくることを目的として、学校へボールルームダンスのトップデモンストレーター及び指導者を派遣し、模範演技と実技講習をするとともに、ジュニア開発の裾野を拡げる機会とする。

(2) 主催 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟

(3) 後援 文部科学省

(4) 期間 平成 27 年 4 月 1 日 (水) ～平成 28 年 3 月 31 日 (木)

(5) 派遣校

ア 大仙市立高梨小学校

(ア) 日時 平成 27 年 6 月 3 日 (水) 14:00 分～15:30 分 (90 分)

(イ) 会場 大仙市立高梨小学校

(ウ) 対象学年及び人数 第 4 学年 40 人 (男子 23 人、女子 17 人)、第 5 学年 42 人 (男子 21 人、女子 21 人)、第 6 学年 28 人 (男子 18 人、女子 10 人)、教員・父母 10 人

合計 201 人

(エ) 教科または行事名 体育

(オ) 開催目的 ボールルームダンスのトップデモンストレーターによる模範演技と体験講習による学習を通じて、ボールルームダンスの楽しさを理解する。

(カ) デモンストレーター

市川 学 (学校学習委員会学校キャラバン隊デモンストレーター)

大島 寿子 (学校学習委員会学校キャラバン隊デモンストレーター)

(キ) 指導講師

堀口 宏 (学校学習委員会副委員長)

4 行政・学校・団体・産業界等との連携・協力事業

(1) 目的 学校教諭、児童・生徒並びに一般を対象に、ボールルームダンスを生涯スポーツ

として体験してもらうため、機関、学校等と連携を図り、ボールルームダンスの普及・啓発に努める。

- (2) 主 催 公益財団法人日本ボールルームダンス連盟
- (3) 講 師 学校学習委員会委員
- (4) 対 象 全国の行政、団体、学校ならびに社会人
- (5) 開催期日 平成 27 年 4 月 1 日 (水) ～平成 28 年 3 月 31 日 (木)

《学校との連携・協力》

ア 東京学芸大学附属大泉小学校

- (ア) 目 的 カリキュラムにボールルームダンスを位置づけているとともに、運動会で採り上げ発表する。
- (イ) 日 時 平成 27 年 9 月 9 日 (木) 10 : 30～12 : 00 (90 分)
- (ウ) 対 象 大泉小学校 5 年生 150 人 担当教諭 5 人、実習生 10 人 合計 165 人
- (エ) 場 所 大泉小学校体育館
- (オ) 内 容 ジルバとワルツのリズムエクササイズとパート 1
- (カ) 講 師 堀口 宏、市川 学、大島 寿子

イ 岐阜県御嵩町立上之郷中学校

- (ア) 目 的 体育授業でボールルームダンスを教材として興味、関心を持たせ生徒のコミュニケーション能力を育成するとともに本物を観る機会とする。
- (イ) 日 時 平成 27 年 10 月 28 日 (水)、10 月 30 日 (金)、11 月 2 日 (月)、11 月 6 日 (金) 11 月 10 日 (金) の 5 間、1 日 2 コマ、午前 10 : 30～午後 12 : 20
- (ウ) 対 象 御嵩町立上之郷中学校の 1 年～3 年の全校生徒
- (エ) 人 数 男子 20 人、女子 19 人 合計 39 人
- (オ) 場 所 御嵩町立上之郷中学校
- (カ) 授業時間数及び内容
10 時間の内容 : ジルバ 4 時間、スロー・クイック 4 時間、発表会の準備と練習 1 時間、発表会 1 時間、プロのデモンストレーション)
- (キ) 内 容 ジルバとスロー・クイックの指導
- (ク) 講 師 ① 本法人講師 堀口 宏
② 岐阜県講師 秋田祈雄、岩本吉夫、塚越 英智、渡邊昌弘、秋田しげ子、塚越弓子、岩本華代、大橋 研二、岸野敏夫、岸野芳子、岡村 力、岡村秀代
③ デモンストレーター 山本 章緒・池田 有妃組 宮嶋 隆夫・吉田 早織組
④ デモンストレーター 宮嶋 隆夫・吉田 早織組 鈴木 悠平・高橋あゆみ組

5 サマーセミナー

- (1) 目 的 指導者を育成する為の講師・試験委員を育成する事業で、正しいボールルームダンスを不特定多数の一般の方に広めるとともに、全国的に地域差のない、ダンス指導者のための講習ができる人材の育成を目指している。
- (2) 参加対象 会員・不特定多数の一般の方
- (3) 期 日 平成 27 年 7 月 7 日 (火) 10 : 30～19 : 00

8日(水) 10:00～16:00

(4) 会 場 ティアラこうとう「大ホール」
東京都江東区住吉2-28-36

(5) 16回サマーセミナー実行委員会

・実行委員長 村澤武志 (資格委員会副委員長)

副実行委員長 山内国祥 (教材作成部会部会長)

泉久保美一 (本部試験管理小委員会副委員長)

・実行委員 内田芳昭 (資格委員会委員長)、村澤武志 (資格委員会副委員長)、山口慶子 (指導者資格認定部会部長)、鈴木美代子 (講師・試験部会部長)、松浦孝俊 (採点管理者認定部会部長)、山内国祥 (教材出版部会部長)、杉原孝 (会員管理部会部長)、泉久保美一 (本部試験管理小委員会副委員長)

(6) 特記事項 平成27年度に開催された第16回のサマーセミナーには2日間で1,082名の会員及び一般の方の参加があった。スタンダードはワルツを中心に講習を行い、ラテンはジャイブを中心に行った。また、昨年の「みんなdeワルツ」に続き、今回も「みんなdeタンゴ」というタイトルで、ルーティンを作りサークル等で活用していただく為の講習を行い好評であった。

6 定期研修会

- (1) 目 的 アマチュア地域指導員及び、プロ商業スポーツ施設インストラクターの会員に年に1回最新の技術の講習を行い、日本全国の指導者の指導技術力の向上を目指す。
- (2) 参加対象 会員
- (3) 特記事項 平成27年度はスタンダードはワルツ、ラテンアメリカンはジャイブを指定種目とし、サマーセミナーで発表されたステップを中心の講習がなされた。
- (4) 日程・開催地区・会場・開催時間は、別紙①の表を参照。

7 ナショナルチーム選手育成事業 (ナショナルチーム強化講習会) 中止

8 コングレス 中止

9 ジュニアダンス開発事業

- (1) 目 的 青少年の情操教育の一環及びボールルームダンスの若年層拡大を目的として全国各地にジュニア・スクールを展開し、その開校教室に対し支援や助言を行うとともに、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 開催期日 各会場により異なる。
- (3) 会 場 全国の各教室や公民館等で開催 (49教室)
- (4) 内 容 各ジュニア・スクールにおいて、本法人指定のカリキュラム (原則、1回につき60分～90分、13回を1クールとし年間で3クール) に沿ってレッスンを行った。本法人は、ジュニア・スクール開講教室に対し、出席カードとシールを無料で配布するとともに、5名以上の生徒を有するジュニア・スクールに対し、1回の開催につき500円の交通費の支援を行った。

- (5) 特記事項 ジュニア・スクールで指導・開校するための必修講習会「ジュニア・スクール指導員講習会」を実施した。
 日頃の成果を試す機会及び目標や達成感を与えることを目的として、山形県において、バッジ・テストを実施した。
 「ダンスサミット in Japan (創作ダンス・フォークダンス・リズムのダンス・社交ダンスの4部門に区分されたコンクール)」へ参加・協力を行った。
 (主催：Dance Summit in Japan 運営協議会)

10 ダンスウィーク「ダンスの日」事業

- (1) 目的 11月29日を「ダンスの日」と制定し、この日を中心に子どもから大人までを対象としたさまざまなイベントを全国各地で開催することにより、ボールルームダンスの普及促進に寄与する。広域加盟団体、都府県加盟団体及び認定教室等と連携し、全国展開を図りながら、多くの一般の人にダンスを楽しんでもらう機会をつくることにより、ボールルームダンスの認知度を向上させ、広く国民に浸透させるとともに、生涯スポーツとして根付かせることに寄与する。
- (2) 開催期日 11月29日を中心に前後1週間で開催した。ただし、広域加盟団体、都府県加盟団体及び認定教室等の実情に合わせての開催も可能とした。
- (3) 会場 実施する広域加盟団体、都府県加盟団体及び認定教室等により異なる。
- (4) 内容 広域加盟団体、都府県加盟団体及び認定教室等において、ダンスタイム、講習会、トライアル、コンテスト、体験レッスン、プロによるデモンストラーション等が行われた。

《広域加盟団体及び都府県加盟団体の実施状況》

秋田県・埼玉県・千葉県(4会場)・富山県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・鳥取県・山口県・福岡県・長崎県・熊本県・宮崎県・鹿児島県

[合計] 19団体 22会場

《認定教室の実施状況》

北海道(3教室)・岩手県(4教室)・秋田県(1教室)・山形県(1教室)・宮城県(1教室)・埼玉県(1教室)・東京都(1教室)・大阪府(1教室)・山口県(1教室)

[合計] 14教室 14会場

※ 総合計：33団体・教室 36会場

11 地域協会支援事業

- (1) 目的 生涯スポーツ・生活文化としてのダンスの普及を目的として、各都道府県地域協会がダンスを経験したことのない一般の人達も体験・参加できるようなイベント等を開催し、すそ野を広げるとともに地域協会の活性化を図り、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 開催期日 実施する都道府県地域協会により異なる。
- (3) 会場 実施する都道府県地域協会により異なる。

- (4) 内 容 都道府県地域協会において、ダンスパーティー、交流会、講習会、ダンスフェスティバル等のイベントが企画・運営された。本法人は、実施した地域協会に対し、事業費として費用の一部を支援した。

1 2 スーパージャパンカップダンス前夜祭・ダンスマイライフ大舞踏会 中止

第 2. 調査・資料収集に関する活動

1 国際渉外事業

- (1) 目 的 国際問題や国際競技会等の情報収集、調査、研究を行い、それに伴う海外の組織に関わる事務全般を行う。

2 機関誌(ダンス・マイ・ライフ)作成事業

- (1) 目 的 本連盟が平成 27 年度に行う諸事業に関し、各事業への理解及び参加をうながす。併せて多くの人へ、ボールルームダンスの魅力と本連盟の活動を広報し、本連盟が目指すダンス文化創造の土台づくりに貢献する。

- (2) 配布対象 全国の本連盟会員、関係企業、教育機関、行政機関、一般のダンス愛好者、本連盟が開催する指導者講習会参加者（学校教員）など。

- (3) 発行回数と部数

年 1 回、79 号を発行した。発行部数は 15,000 部。

- (4) 内 容

79 号（平成 27 年 5 月 12 日発行）：

平成 27 年度事業計画、平成 27 年度予算書、「2015 スーパージャパンカップダンス」詳報、平成 26 年度のジュニアスクール活動報告、学校キャラバン隊報告、サマーセミナー開催情報など。

- (5) 成 果 平成 27 年度に本連盟が取り組んだ諸事業について、ホームページ上での公開と併せて、多くの人へ広報した。

3 情報システム運営事業

- (1) 目 的 タイムリーに情報更新を行い、本連盟の活動とボールルームダンスの魅力を周知広報する。また、事業計画や収支報告などの情報公開の窓口として活用する。

- (2) 内 容 ① J B D F の設立目的や役員名、組織図や事業計画、事業報告、予算・決算書など組織概要の紹介（日本語と一部英語）。加盟団体へのリンクなど。
② 運営委員会の情報（普及イベントや競技会情報）
③ 資格審議委員会の情報（試験日程、サマーセミナーや定期研修会の情報）
④ 21 世紀ダンス文化普及振興室の情報（講習会開催と学校キャラバン隊など）
⑤ 機関誌『ダンスマイライフ』最新号及びバックナンバー
⑥ 全国の本連盟認可ダンススクールの一覧情報
⑦ 各種教材とダンス音楽 CD 等のネット販売

- (3) 成 果 平成 27 年度の各種情報を適宜更新した。

4 資料室運営事業

- (1) 目的 日本のダンス界の共有の財産として、ボールルームダンスと関連する音楽やスポーツ科学等の書籍並びに映像資料等を収集し、ボールルームダンスの普及と技術向上に向けた研究・調査等をサポートする。
- (2) 対象、閲覧要項
本連盟会員及び一般。利用は無料。閲覧時間：平日午前10時～午後6時。
- (3) 収蔵内容 ①日本はじめ英国などのダンスの解説書（昭和初期の貴重なものから戦後、現在のものまで）
②ダンス雑誌（昭和初期の貴重なものから戦後、現在のものまで）
③ダンス史や評伝、アルゼンチンタンゴ等、他ジャンルダンスの書籍
④ダンス音楽及びダンス映像等
⑤競技会プログラム、引退パーティプログラム
⑥学校体育教育に関する専門書（青柳文庫）
⑦身体科学、スポーツ医学書（青柳文庫）
書籍約500冊、雑誌約1100冊。
- (4) 成果 ダンス愛好家や学生などが利用した。

第3. 資格付与に関する活動

1 プロダンスインストラクター事業

- (1) 目的 第33回の試験までは、国家公安委員会より風俗営業法からの適用除外を受けられる指導者を養成できる特定講習団体の指定を受けて、認定講習及び考査・認定試験を年に2回国家公安委員会指導の下全国9ブロックにおいて開催する事業。（平成27年6月17日風俗営業法改正により、国家公安委員会の指定の必要がなくなった。）
- (2) 参加対象 プロ・ダンス・インストラクター資格を取りたいアマチュアの指導員及び不特定多数の一般の方
- (3) 特記事項 平成27年度は第33回が4月24日（金）と、第34回が10月23日（金）に開催された。第33回が受験者数49名で合格者41名。第34回が受験者数64名で合格者54名。年間の受験者113名で合格者95名であったので、合格率は約84.0%だった。なお、認定試験の受験者はいなかった。
- (4) 日程・開催地区・講習会場・試験会場は別紙②の表を参照。

2 資格認定事業

- (1) 目的 不特定多数の一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする認定試験の開催。
- (2) 参加対象 ボールルームダンスを指導することに関心のある一般の方から、指導技術の向上を目指す会員。
- (3) 特記事項 地域指導員5級～1級の認定試験は全国10箇所にて開催され延べ174

名の受験者があり、159名が合格した。合格率は91.3%になる。

- (4) 日程・開催地区・開催された級・受験者数・合格者数・実施会場・責任者は、別紙③-1の表を参照。

第4. 競技会に関する活動

1 小・中・高校生ボールルームダンス・全日本チャンピオンシップ

◎スポーツ拠点づくり推進事業（総務省・文部科学省推進）承認スポーツ大会

- (1) 目的 総務省と文部科学省が推進する「スポーツ拠点づくり推進事業」の承認を受け、青少年の競技力向上及び心身の健全育成の推進並びに、スポーツの振興及び地域の活性化に寄与する。
- (2) 開催期日 平成27年8月1日（土）・2日（日）
- (3) 会場 中央区立総合スポーツセンター（東京都）
- (4) 後援 総務省、文部科学省、東京都教育委員会、中央区、中央区教育委員会、（一財）地域活性化センター、（公財）日本レクリエーション協会、（公財）読売新聞社
- (5) 協賛 日本スポーツダンス振興会、日本バルカー工業（株）、人形町商店街協同組合
- (6) 参加者数 421人（延べ441組）
- (7) 一般来場者数 約1,700人（2日間合計）
- (8) 内容 未就学の部・小学生低学年の部・小学生高学年の部・中学生の部・高校生の部に分かれ、男女カップル及び女子同士カップルの2部門においてスタンダード・ラテン部門それぞれに競技を行った。
- (9) 特記事項 総務省と文部科学省が推進する「スポーツ拠点づくり推進事業」の承認スポーツ大会として、一般財団法人地域活性化センターの支援及び東京都中央区の協力を得て実施した。

2 ジャパン・ジュニア・ダンス・フェスティバル

- (1) 目的 ボールルームダンスの楽しさを理解してもらうとともに、青少年の健全な発達に資することを目的とし、併せてボールルームダンスの普及促進に寄与する。
- (2) 開催期日 平成27年8月1日（土）
- (3) 会場 中央区立総合スポーツセンター（東京都）
- (4) 参加者数 583人
- (5) 一般来場者数 約400人
- (6) 内容 小学生の低学年、中学年、高学年、中学、高校・大学生の5部門に分かれ、カップルではなくソロで踊るシャドーダンスで競技を行った。
- (7) 特記事項 大会の一環として、バッジ・テスト及び発表会も開催した。

3 日本インターナショナルダンス選手権大会

- (1) 目的 国内外のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図

るとともに、室内競技スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。

- (2) 開催期日 平成27年6月13日(土)・14日(日)
- (3) 会場 日本武道館大ホール
- (4) 後援 文部科学省
- (5) 協賛 チャコット(株)、モダン出版(株)、(株)タカ・ダンスファッション、サンスター(株)、(株)ボールプランニングイケダ、(株)コミンチャーモ、ワールドダイヤモンド・フェスティバル、(一社)国際スポーツ振興協会
- (6) 参加者数 1,548人(774組) ※前年 2,190人(1,095組)
- (7) 一般来場者数 約12,000人(2日間合計) ※前年 約16,500人
- (8) 内容 海外のトップ選手及び著名審査員を招聘し、プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、グランドシニア選手権、シニア選手権、ジュニア競技会、ジュブナイル競技会を行った。
- (9) 特記事項 国内最高峰の競技会として、伝統と権威のある世界的な大会に定着している。

4 スーパージャパンカップダンス

全日本セグエ選手権大会・全日本選抜ダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。
- (2) 開催期日 平成28年3月5日(土)・3月6日(日)
- (3) 会場 幕張イベントホール(幕張メッセ)
- (4) 後援 文部科学省、千葉県、千葉県教育委員会、千葉市
- (5) 協賛 チャコット(株)、モダン出版(株)
- (6) 参加者数 668人(334組) ※前年 2,396人(1,198組)
- (7) 一般来場者数 約3,600人(2日間合計) ※前年 約8,500人
- (8) 内容 全日本セグエ選手権(プロのみ)、全日本選抜ダンス選手権(プロ・アマ)、プロ・ライジングスター競技会、スーパーシニア競技会、全日本ジュニア選手権、全日本ジュブナイル選手権、車いすダンス東京グランプリを行った。
- (9) 特記事項 全日本セグエ選手権は通常の競技会とは異なり、ドラマチックで独創的なダンスで、見る側にとっても十分に楽しむことのできる大会である。

5 JBDFプロフェッショナルダンス選手権大会

全日本アマチュアダンス選手権大会

- (1) 目的 国内のトップクラスを交えボールルームダンスのレベルアップを図るとともに、室内競技スポーツとしてわが国のボールルームダンスの普及と発展を推進する。

- (2) 開催期日 平成27年10月25日(日)
- (3) 会場 静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ)
- (4) 後援 文部科学省、静岡県、静岡県教育委員会、静岡市、静岡市教育委員会、静岡新聞社、静岡放送
- (5) 協賛 チャコット(株)、(株)タカ・ダンスファッション、ダンス・ファッション・ワールド、(株)雅、(有)多美咲、(株)ステージループ静岡、(株)スタジオ・ひまわり[ファースト・プレイス東京]
- (6) 参加者数 492人(246組)※前年 1,412人(706組)
- (7) 一般来場者数 約1,300人 ※前年 約2,500人
- (8) 内容 プロフェッショナル部門とアマチュア部門の本選以外に、全日本グラントシニア選手権、シニア選手権を行った。
- (9) 特記事項 昭和26年から行われた最も歴史のある競技会である。
プロフェッショナル部門とアマチュア部門の優勝者には、文部科学大臣杯が授与された。
中部日本ボールルームダンス連盟及び静岡県ボールルームダンス連盟の協力のもと実施した。
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構と連携し、独立行政法人日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ(toto)の助成を受け、ドーピング検査(プロ部門のみ)を実施した。

6 全日本10ダンス選手権大会 中止

7 その他競技会 (7を挿入)

競技会名	開催期日	会場	参加者数
第1回 水の都大阪ダンス競技大会	H27.10.4(日)	ザ・ゴールドデンパレス (大阪市)	151組
第1回 JBDF クラス別ダンス競技会	H27.10.18(日)	ファーストプレイス東京	118組
第2回 JBDF クラス別ダンス競技会	H27.11.1(日)	埼玉県深谷市総合体育館 (ビッグタートル)	157組
第3回 JBDF クラス別ダンス競技会	H27.11.22(日)	東京都立産業貿易センター 台東館	91組
第1回 JBDF 東京ダンス選手権大会	H27.12.6(日)	ファーストプレイス東京	80組

※平成27年7月27日開催の第17回臨時理事会において、追加事業として承認。

【収益事業等】

1 出版物の刊行・販売

- (1) 趣 旨 試験用の資料、会員が指導に必要な教本・教材の製作をする。
- (2) 対 象 会員及び、正式なボールルームダンスを学びたい不特定多数の一般の方。
- (3) 特記事項 本年度は、サマーセミナーのポピュラーバリエーション DVD (ワルツ・ジヤイブ編) みんな de タンゴ DVD 等を制作した。

【その他の事業（相互扶助等事業）】

1 海外で開催される競技会のチケットの販売に関する活動

<ブラックプール関連業務>

- (1) チケット申込 JBDF 選手および関係者のチケットを合計 195 枚手配し、選手に対しては全国プロ選手会を通じて、また、その他の関係者の方々には直接チケットを送付した。

なお、2015 年は最終的に席付のチケットが 33 枚キャンセルになったため、それらは事前に主催者側に返却し、その分のチケット代を返金してもらった。

- (2) 出場申込 2015 年は、プロ 62 組が出場の申込を行った。

<ホームページ英語版の編集および管理>

- (1) JBDF4 大会の予定、シラバス (日本インターのみ)、結果、ならびに海外主要競技会の予定をそれぞれ作成、掲載した (日本語版・英語版)。
- (2) 電子メールによる海外からの問い合わせを翻訳、対応した。

<その他>

- (1) 海外のイベントに係わる事務全般 — 海外の主要競技会の案内やシラバスの翻訳、関連通信、JBDF の広告掲載手続などを行った。
- (2) 情報収集 海外のダンス関連新聞、雑誌、ホームページに掲載されている重要案件を翻訳した。

2 外国人招聘手続に関する活動

16 件の申請依頼を受け、就労に必要なビザを申請、取得した。JBDF 本部から 1 件の依頼を受け、短期滞在に必要な書類を外国人選手に送付した。

3 商業スポーツ施設インストラクター認定、講師・試験委員認定、採点管理者資格認定に関する活動

- (1) 目 的 一般の方に正しいボールルームダンスを広めるために、講習会及び認定試験によって指導者を養成・育成することを目的とする
- (2) 参加対象 ①商業会員に商業スポーツ施設インストラクター 5～1 級の講習及び認定試験を行なう。
②正会員に講師 3 級～1 級・試験委員 3～1 級の講習及び試験を開催し認定する。
③会員に採点管理者資格 1 次又は 2 次の試験を開催し、資格を認定する。

- (3) 特記事項 ①商業スポーツ施設インストラクター5級～1級認定試験を全国12箇所にて開催し、延べ96名の受験者があり、86名が合格した。合格率は89.6%になる。
- ②講師・試験委員3～1級の認定試験を3箇所で行い15名を認定した。採点管理者認定試験を全国3箇所にて実施し、1次試験2次試験合わせて24名受験し合格者24名で合格率100.0%となった。
- (4) 日程・開催地区・開催された級・受験者数・合格者数・実施会場・責任者は、別紙③-1及び別紙③-2の表を参照。

以上